

2026 年度
外国人留学生入学試験
(前期実施・後期実施)
入学試験要項

デザイン・アート学部追加版 (2025 年 9 月 1 日更新)

- 不測の事態により、入学試験要項どおりに試験を実施することが困難であると本学が判断した場合には、内容の変更を行うことがあります。内容の変更を行う場合は、立命館大学入試情報サイト (<https://ritsnet.ritsumeijp>) でお知らせします。
- 本学からはオンライン出願システムまたは電子メールで志願者に入学試験実施に関わる事項を連絡します。定期的にオンライン出願システムまたは電子メールを確認するようにしてください。
- 本入学試験要項に記載されている日時は、すべて日本標準時 (JST) です。

立命館大学

2026 年度 外国人留学生入学試験（前期実施・後期実施）

<入学試験概要>

1. 選考スケジュール

各スケジュールの詳細は、本入学試験要項の該当する項目を確認してください。

	前期実施	後期実施
出願期間	2025 年 8 月 20 日（水）～ 8 月 29 日（金）	2025 年 11 月 10 日（月）～ 11 月 17 日（月）
第 1 次選考合格発表日	2025 年 9 月 26 日（金）	2025 年 12 月 25 日（木）
第 2 次選考日	2025 年 10 月 4 日（土）または 2025 年 10 月 5 日（日）	2026 年 1 月 10 日（土）または 2026 年 1 月 11 日（日）
第 2 次選考合格発表日	2025 年 10 月 20 日（月）	2026 年 1 月 21 日（水）
第 1 次入学手続期間	2025 年 10 月 20 日（月）～ 11 月 4 日（火）	2026 年 1 月 21 日（水）～ 2 月 4 日（水）
第 2 次入学手続期間	2026 年 3 月 9 日（月）～ 3 月 18 日（水）	

※経営学部は 1 段階選抜（日本留学試験の成績と出願書類の総合評価）のため、第 2 次選考は行いません。合格発表は第 2 次選考合格発表日と同日に行います。

2. 選考方法

選考方法の詳細は、本入学試験要項の「11. 選考方法」（P.13）を確認してください。

(1) 全学部（経営学部を除く）

2 段階選抜

- ・第 1 次選考：日本留学試験の成績
- ・第 2 次選考：日本留学試験の成績と個人面接の総合評価

(2) 経営学部

1 段階選抜

- ・日本留学試験の成績と出願書類の総合評価

3. 本入学試験の出願資格・要件

「4. 出願資格・要件」（P.6）を確認してください。

<問い合わせ先>

立命館大学入学センター

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL：075-465-8162（土日祝日を除く 9:00～17:30）

*2025 年 8 月 8 日（金）から 8 月 18 日（月）、2025 年 12 月 26 日（金）から 2026 年 1 月 5 日（月）までは一斉休業のため、業務を行いません。

2026 年度 外国人留学生入学試験（前期実施・後期実施）入学試験要項

目次

I. 本入学試験の概要について	
1. アドミッション・ポリシー	1
2. 本入学試験の目的	3
3. 募集学部・学科等および募集人数	4
II. 出願資格・要件について	
4. 出願資格・要件	6
III. 出願手続について	
5. 出願手続の流れ	8
6. 出願書類の提出	9
7. 出願書類の詳細	10
8. 入学検定料	12
9. 受験票の発行	12
10. 出願にあたっての注意事項	13
IV. 選考内容・合格発表について	
11. 選考方法	13
12. 受験にあたっての注意事項	14
13. 試験当日の注意事項	16
14. 合格発表	17
V. 合格後の手続等について	
15. 入学手続	18
16. 日本国外在住者（在留カードを持っていない方）への留意点	19
VI. その他	
17. 入学後の留意点	20
18. 学費・諸会費・各種奨学金等	20
19. 入学前教育（デザイン・アート学部のみ）	20
20. 受験生の個人情報の取扱い	20
21. キャンパスマップおよび交通案内	21
立命館大学への留学案内	22
2025 年度 外国人留学生入学試験結果・日本留学試験合格者最低点	25

2026 年度 外国人留学生入学試験（前期実施・後期実施）入学試験要項

I. 本入学試験の概要について

1. アドミッション・ポリシー

学部	アドミッション・ポリシー
法学部	<p>立命館大学法学部は、次に掲げる 3 つのことをすべて満たす者を、入学者として積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中等教育修了程度の基礎学力を有していること。 2 法学・政治学の専門教育を受けるのに必要な素養を有していること。 3 立命館大学法学部の人材育成目的を理解し、法学・政治学の学びに強い意欲を有していること。 <p>また、法学・政治学の専門教育を受けるのに必要な素養 (2) の有無を判断するにあたっては、社会科学に関する基本的な語彙の知識 (漢字の読み書きの力を含む)、論理的思考力、文章読解力、文章表現力 (理解した内容やこれに基づく自己の見解を口頭で述べる力を含む)、歴史や政治経済に関する基礎的な知識、および英語をはじめとする外国語の基礎的素養の有無ならびに程度を重視します。</p>
産業社会学部	<p>産業社会学部のカリキュラムで学ぶために必要な、以下の能力や資質を有する者を受け入れます。</p> <p>< 関心・意欲・態度 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な教養と知的好奇心を有している者 2 現代の様々な社会問題の理解とその解決に強い関心を持つ者 3 他者とのやりとりを通して主体的に学びを深める姿勢を有する者 4 将来、総合的で多面的な視野を持ち国内外での活躍を希望する者 <p>< 知識・理解 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 5 高等学校教育課程における基礎的な学力、思考能力、判断能力を有し、それらを応用することができる者
国際関係学部 国際関係学科	<p>国際関係学科では、国際社会の理解に不可欠な「言語×理論×地域」を段階的に学んでいきます。その中で、高い外国語運用能力と論理的思考力を養い、多文化を理解する豊かな知性を育んでいきます。こうした学科での学びの中で、自らの意思で主体的に行動し、行政・経済・文化・平和といった観点から社会に貢献する意欲を持つ学生を求めます。</p> <p>このため、入学時点で、以下の学力と意欲を有している学生を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国際社会の諸問題を分析するために必要な基礎学力 2 国際社会の諸問題に関する高い関心、およびそれを自発的に探求する意欲 3 国際社会の諸問題を理解し、表現することができる語学力
文学部	<p>文学部では、以下のような学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人文学の分野・領域に対して深い関心と探究心を持つ者 2 人文学を学ぶために必要な基礎学力を有する者 3 学域・専攻での学びを通して幅広い知識と豊かな表現力を身につけて、人間と社会が抱える諸問題を主体的に追求・解決しようとする意欲を持つ者
デザイン・アート学部	<ol style="list-style-type: none"> 1 知識・技能 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮し、フィジカルとデジタルに跨るデザイン・アートに関わる知識と技能を身につけるために、高等学校卒業相当の基礎学力を有している者。 2 思考力・判断力、表現力等の能力 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮するために、デザイン・アートに関わる知識と技能に基づく思考・意思決定・行動の実践に励む意欲を持つ者。 3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 美的感性に裏打ちされた「問題解決力」「問い直し力」「共創力」「問題発見力」「創造的思考力」を総合的に発揮して、豊かな文化・生活世界の新たな形成理念を構想し、他者との協働においてそれを具現化するための努力を惜しまない者。
経営学部	<p>経営学部は、学部の教育目標を達成するために、以下の能力・資質を有するものを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経営学に強い関心を持ち、高い意欲と目的意識を持って学習を行おうとしている 2 学部の掲げる人材育成目的・教育目標を理解し、経営学部での勉学を強く志望している 3 広く高等学校卒業レベルの基礎学力を有している 4 大学での学びに必要な日本語運用能力を有している <p>また、各分野あるいは将来の進路に関わって、下記のような人材をより積極的に求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 経営学分野における高度な専門的能力を獲得し、戦略、マーケティング、組織、会計・ファイナンスの各分野で活躍をめざしている 6 会計分野における高度な専門的能力および関連する資格の獲得をめざしている 7 将来、広い意味での起業家 (アントレプレナー) や事業の継承 (承継) をめざしている 8 高い外国語運用能力を獲得し、将来、広く国際ビジネスの分野において活躍をめざしている 9 アジアビジネスに興味を持ち、将来、アジアを舞台に活躍をめざしている
政策科学部	<p>政策科学部では、解決が必要とされている政策課題に対して、実践レベルに踏み込み、よりよい社会を創造するための学びを展開しています。こうした学びにチャレンジする学生を求めていることから、入学時点において以下の学力、関心を有することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること 2 それらの知識に基づく問題解決のための思考や態度、能力習得に関心があること 3 広く社会的な課題の解決に向けた実践や構想に意欲があること

学部	アドミッション・ポリシー
総合心理学部	<p>総合心理学部では、本学部の人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を求めます。</p> <p>このため、入学時点において以下の学力、関心などを有することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校などの教育によって修得した基礎的な学力を有していること 特に、国語と外国語に関する知識、理解力や表現力を有していること 2 数学、社会、理科などの分野における知識や思考力を有していること 3 人間の心と行動、現代における人間の在り方についての問題に関心を有していること
映像学部	<p>映像学部では、芸術（アート）的、経済（ビジネス）的、工学（テクノロジー）的な要素を備える様々な科目を通じて、映像に関する「理論」と「実践」を繰り返して学んでいきます。こうした学びの中で、多様化する映像を社会の様々な場面で活用できる「プロデューサー・マインド」を身につけ、未来の映像文化および映像産業を担う強い意志を持つ学生を求めます。具体的には、以下の資質を備えている学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 映像を学ぶことに関わる総合的な学力を備えている者 2 映像を表現し、理解するための知識と技能を身につける意欲を備えている者 3 映像を通じて広く人類と社会に貢献していく強い意思を備えている者
経済学部	<p>経済学部は、経済学を基軸に社会科学を総合的に学ぶことで、多様性理解力とグローバルな視野を有し、経済センスに裏打ちされた論理的思考力をもって経済社会の諸課題に取り組み、その解決に貢献できる人材を育成することを目的としています。こうした人材育成目的に向けて設定された教育目標とカリキュラムで学ぶため、入学時点において以下の学力、意欲、興味を有することを求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経済・社会の問題を分析するために必要な基礎学力 2 経済・社会の問題に対する関心と問題解決に主体的に取り組む意欲 3 他者と協力しながら、ものごとに取り組む意欲 4 論理的なものの見方・考え方に対する興味
スポーツ健康科学部	<p>スポーツ健康科学部では、以下のような素養を有した学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 論理的に考える基礎的素養を身につけ、スポーツ健康科学分野を学ぶために必要な学力を有する学生 2 多様な価値観を持った人々及び異分野の人々と融合した学びに、意欲的に取り組むことができる学生 3 社会課題の解決及び社会貢献のために、スポーツ健康科学分野の学びに主体的に挑戦する意志を持つ学生 4 自身の持ち味を理解し、自身の持っている人間の魅力を発揮する意欲を持つ学生
食マネジメント学部	<p>食マネジメント学部の人材育成目的に共感し、食についての幅広い興味や関心を抱き、社会と関わる食についての諸分野を統合的に学び、現代社会において実践的な行動力を発揮できる者を募集します。具体的には次の通りになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食に関わる分野について強い興味や関心を抱き、食科学を主体的に学ぶ知的好奇心を有する者 2 食マネジメント学部に関わるマネジメント、カルチャー、テクノロジーの諸科目を理解するために必要となる基礎的な知識および技能を有する者 3 5教科（国語、外国語、数学、理科、社会）、さらにそれ以外の教科も含めて、社会や文化に関連する内容や自然現象に関連する内容に関心をもち、幅広く基礎的な学習をしてきた者 4 文化多様性への理解を示し、修得した統合的な知性を、国内外において積極的に受発信し実践する意欲と、そのための思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を持つ者
情報理工学部	<p>情報理工学部は、情報科学技術の基礎から応用までの幅広い領域において、中核となる知識や技術から最先端の内容に及ぶ教育・研究を行います。コンピュータを利用して、新しい問題に対して実践的かつ創造的な解決策を導くことのできる経験と知識を備え、情報技術分野の組織の一員として中核的な役割を果たすとともに、多様な組織のリーダーとしてグローバルに活躍できる技術者・研究者を育成することを目指します。このような人材を育成するために、本学部では下記のような人物が入学することを期待しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 論理的な思考を行うことができ、情報科学を学ぶために必要な数学や自然科学に関する基礎知識を備えている 2 日本語で学ぶ6つのコースについては、日本語の文章を作成および理解する十分な能力と、英語に関する基礎学力を備えている 英語で学ぶ1つのコースについては、英語の文章を作成および理解する十分な能力を備えている 3 大学での幅広い学びを理解するための基礎的な教養を備えている 4 情報技術に関わる学問分野に、幅広く、強い関心・興味を持っている 5 基礎的なプログラミングを学習する強い意欲を持っている 6 専門的な知識・技術、正しい倫理観、リーダーシップを獲得することに強い意欲を持っている 7 問題を発見・解決する能力、コミュニケーション能力の重要性を認識し、その向上に励む意欲を持っている
理工学部	<p>理工学部は、数学と理科の確かな学力と論理的思考力を兼ね備えた、以下のような意欲的な学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旺盛な好奇心と鋭い問題意識を持ち、物事の本質をよく理解し、課題を見つけようと努力する者 2 科学技術や社会の動向に関心をもち、幅広い視野から創造的に物事をとらえようとする者 3 他人の立場が理解でき、寛容な精神を持ち自己を律することができる者 4 確かな自分の意見を持ち、新しいことに挑戦する気構えがある者
生命科学部	<p>生命科学部は、「基礎学力に加え、論理的思考能力、問題発見・解決能力およびコミュニケーション能力を有し、生命科学部で学ぶことに対し、積極的姿勢を持つ学生」を求めます。</p> <p>具体的には、「生命科学の世紀」といわれる21世紀において、生命科学の学術としての発展に寄与し、人類の幸福と、自然と調和した持続可能で豊かな社会の実現に貢献しようという強い意志を持つことに加えて、下記の3点の能力を持つ者を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大学での学修の前提となる確かな基礎学力を有する者 2 真理を探究するために必要な論理的思考能力を有する者 3 課題を推進していくために必要な問題発見・解決能力やコミュニケーション能力を有する者

学部	アドミッション・ポリシー
薬学部	<p>薬学部は、医療の高度化に伴う薬学の深い専門的な力量をつけるため、以下のような学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 理科・数学において基礎的な知識を有し、科学的な思考力を持つ者 2 課題探究心、社会性および一定のコミュニケーション能力を有する者 3 薬学科では先端的な医療に関心を持ち、高度専門職業人としての薬剤師となることを強く志望し、そのために努力を惜しまない者 4 創薬科学科では医薬品創製および関連分野において基礎研究および臨床開発に携わり、グローバルに活躍することを強く志望し、そのために努力を惜しまない者

2. 本入学試験の目的

立命館大学は、国際相互理解を通じた多文化共生の大学を目指しています。本入学試験は、確かな学力と豊かな個性を持った外国人留学生を、21世紀の国際社会におけるリーダーとして羽ばたかせるべく、国籍・人種・地域・宗教・性別を問わず、世界各国・地域から受け入れることを目的としています。

3. 募集学部・学科等および募集人数

前期実施と後期実施の両方に出願することが可能です。ただし、同じ実施回において、出願できるのは第1志望学部のみです（試験日が異なっても複数の学部を併願できません）。なお、本入学試験は専願（受験の際、立命館大学のみを志願すること）ではありません。

学部	学科・専攻等		募集人数	
			前期実施	後期実施
法学部	法学科	法政展開 司法特修 公務行政特修	12名	5名
	※法政展開または各特修を選択する必要はありません。2回生進級時に選択します。司法特修および公務行政特修については、1回生時の成績に基づいて選考が行われます。			
産業社会学部	現代社会学科	現代社会専攻	3名	3名
		メディア社会専攻	5名	5名
		スポーツ社会専攻	2名	2名
		人間福祉専攻	1名	1名
	※4つの専攻から、志望する専攻を1つ選択してください。			
国際関係学部	国際関係学科	国際関係学専攻	12名	10名
文学部	人文学科	人間研究学域 哲学・倫理学専攻 教育人間学専攻	13名	12名
		日本文学研究学域 日本文学専攻 日本語情報学専攻		
		日本史研究学域 日本史学専攻 考古学・文化遺産専攻		
		東アジア研究学域 中国文学・思想専攻 東洋史学専攻 現代東アジア言語・文化専攻		
		国際文化学域 英米文学専攻 ヨーロッパ・イスラーム史専攻 文化芸術専攻		
		地域研究学域 地理学専攻 地域観光学専攻		
		国際コミュニケーション学域 英語圏文化専攻 国際英語専攻		
		言語コミュニケーション学域 コミュニケーション表現専攻 言語学・日本語教育専攻		
	※8つの学域から、志望する学域を1つ選択してください。専攻を選択する必要はありません。2回生進級時に専攻を選択します。			
デザイン・アート学部	デザイン・アート学科		-	10名
経営学部	経営学科	組織コース 戦略コース マーケティングコース 会計・ファイナンスコース	24名	18名
	※コースを選択する必要はありません。3回生進級時にコースを選択します。			

学部	学科・専攻等		募集人数		
			前期実施	後期実施	
政策科学部	政策科学科	政策科学専攻	2名	3名	
総合心理学部	総合心理学科		6名	6名	
映像学部	映像学科		16名	10名	
経済学部	経済学科	国際専攻	1名	1名	
		経済専攻	13名	9名	
	※2つの専攻から、第1志望とする専攻を1つ選択してください。第2志望とする専攻の選択は任意です。ただし、国際専攻を志望する場合は英語外部資格試験のスコア要件を満たす必要があります。				
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科		2名	2名	
食マネジメント学部	食マネジメント学科		6名	6名	
情報理工学部	情報理工学科	システムアーキテクトコース セキュリティ・ネットワークコース 社会システムデザインコース 実世界情報コース メディア情報コース 知能情報コース	15名	10名	
		※コースを選択する必要はありません。1回生春学期中にコースを選択します。			
理工学部	数学物理系	数理科学科	数学コース	5名	5名
			データサイエンスコース		
		物理科学科		1名	1名
	電子システム系	電気電子工学科	先端電子デバイスコース 先端電子システムコース	1名	1名
		電子情報工学科		1名	1名
	機械システム系	機械工学科	機械創成工学コース	1名	1名
			機械情報工学コース	1名	1名
		ロボティクス学科		2名	2名
	都市システム系	環境都市工学科	環境システム工学コース 都市システム工学コース	2名	2名
		建築都市デザイン学科		1名	1名
※8つの学科から、志望する学科を1つ選択してください。数理科学科を志望する場合は、数学コースまたはデータサイエンスコースのいずれかを選択してください。機械工学科を志望する場合は、機械創成工学コースまたは機械情報工学コースのいずれかを選択してください。電気電子工学科および環境都市工学科はコースを選択する必要はありません。2回生進級時にコースを選択します。					
生命科学部	応用化学科		1名	1名	
	生物工学科		1名	1名	
	生命情報学科		1名	1名	
	生命医科学科		1名	1名	
	※4つの学科から、志望する学科を1つ選択してください。				
薬学部	創薬科学科（4年制）		1名	1名	

* 出願状況および選考結果によっては、合格者数は募集人数を下回ることがあります。本入学試験で合格者数が募集人数に満たない場合は、満たなかった定員分を他の入学試験で募集します。

* 上記以外の学部・学科・専攻等は募集しません。

* 法学部、国際関係学部、デザイン・アート学部、経済学部、薬学部を志望する場合は、「17.入学後の留意点」を確認して

ください。

Ⅱ. 出願資格・要件について

4. 出願資格・要件

下表の通り各学部・学科の定める要件をすべて満たす者。なお、下記(2)について卒業・修了・合格の「見込み」で出願し、入学試験に合格した者が、2026年3月31日までに卒業・修了・合格しなかった場合は入学を許可しません。

学部・学科・専攻	要件
法学部、産業社会学部、文学部、デザイン・アート学部、政策科学部、総合心理学部、映像学部、経済学部経済学科経済専攻、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部、情報理工学部、理工学部	(1)～(3)
国際関係学部、経営学部、経済学部経済学科国際専攻、生命科学部、薬学部	(1)～(4)

(1) 外国籍を有する者

(2) 2026年3月31日までに、以下の①～⑪のいずれかに該当する者で、日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等（中等教育学校を含む。以下同じ）に在学した期間が通算3年以内である者※。

※「文部科学大臣が認定した在外教育施設」に在学した場合は、その在学期間を日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等に在学したものと同様に扱います。

① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
② 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者（例：ウクライナ、ウズベキスタン、カザフスタン、スーダン、ベラルーシ、ペルー、ミャンマー、ロシア）
③ 日本の学校教育法に基づく高等学校等を卒業した者
④ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
⑤ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレア資格を保有する者
⑥ 文部科学大臣が外国の高等学校相当として認定した日本の外国人学校を修了した者
⑦ 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者で、18歳に達しているもの
⑧ 外国において12年未満の課程を修了した者で、文部科学大臣が指定した準備教育課程を修了した者
⑨ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑩ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、18歳に達しているもの
⑪ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達しているもの * 本学が出願資格を認定した学校は、朝鮮高級学校です。 また、本学では、本人からの申請に基づき個人の学習歴等を勘案し、⑪に該当すると判断した場合には、出願資格を認めます。個別の入学資格審査を申請する場合、もしくは出願資格を満たしているか不明な場合は、出願期間開始日の3週間前までに入学センターへ問い合わせてください。

* 飛び級等により、12年間より短い期間で修了した場合であっても、最終的に修了した課程が正規の学校教育の12年目以上の課程であれば、この要件を満たすものとします。

- (3) 独立行政法人 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の以下の実施回のうち、各学部が定める受験必須科目を受験し、かつ各学部が定める点数以上を取得した者（後期実施の点数は目安で、目安点以上を取得していなくても出願の要件を満たします）。

日程	「日本留学試験」の実施回
前期実施	2024 年度第 2 回（11 月実施）または 2025 年度第 1 回（6 月実施）
後期実施	2025 年度第 1 回（6 月実施）または 2025 年度第 2 回（11 月実施）

① 受験必須科目

出願する学部によって、受験必須科目が異なります。なお、日本語以外の科目は英語による解答でも可とします。

学部	受験必須科目
法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、デザイン・アート学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部、映像学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「総合科目」または「数学（コース 1 またはコース 2）」 のいずれか 1 科目
経済学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「総合科目」 ③ 「数学（コース 1 またはコース 2）」
理工学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「数学（コース 2）」 ③ 「理科（物理・化学の 2 科目）」
情報理工学部、生命科学部、薬学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「数学（コース 2）」 ③ 「理科（物理・化学・生物から 2 科目選択）」

② 各学部が定める点数

<前期実施>

出願基準点：下表の各学部が定める点数以上を取得していること。各学部が定める点数以上を取得できなかった場合は、出願の要件を満たさないため出願を受理しません。

<後期実施>

出願目安点：下表の各学部が定める点数は目安点です。目安点以上を取得していなくても出願の要件を満たします。

学部	日本語（読解・聴解・聴読解） ／400 点	日本語（記述） ／50 点
法学部 産業社会学部 国際関係学部 文学部 デザイン・アート学部 経営学部 政策科学部 総合心理学部 映像学部 経済学部 スポーツ健康科学部 食マネジメント学部	280 点以上	35 点以上
情報理工学部 理工学部 生命科学部 薬学部	250 点以上	30 点以上

*出願要件ではありませんが、大学の講義の多くは日本語で行われますので、志願者には大学の講義内容を理解できる程度の日本語の能力が求められます。

- (4) 下表の各学部・学科等が定めるいずれかの英語外部資格試験を受験し、出願時点で証明書によってそのスコア等を証明できる者

下表の○印は、級・スコアを問いません。

学部・学科等	国際関係学部	経営学部、 生命科学部、薬学部	経済学部経済学科 国際専攻
①実用英語技能検定	○	○	2 級以上
②TOEFL iBT®テスト	○	○	57 点以上
③TOEIC® Listening & Reading Test	○	○	550 点以上
④IELTS (Academic Module)	○	○	Overall Band Score 4.5 以上
⑤GTEC			960 点以上
⑥TEAP (4 技能)		○	225 点以上
⑦TEAP CBT			420 点以上
⑧Duolingo English Test	○	○	85 点以上

*実用英語技能検定は、受験時期を問いません。②～⑧は、出願期間最終日よりさかのぼって 2 年以内に受験し、出願期間中に必要書類を提出できるものを有効とします。

*実用英語技能検定は、CBT、S-CBT も対象とします。

*TOEFL iBT®テストは、Test Date スコアのみを採用します (MyBest®スコアは採用しません)。

*IELTS (Academic Module) は、CDI も対象とします。

*GTEC は、オフィシャルスコアに限ります。検定版、CBT タイプいずれも対象とします。

*TOEFL iBT® Home Edition、TOEFL® Essentials™ Test、TOEIC® IP テスト、IELTS Online、IELTS One Skill Retake は対象としません。

Ⅲ. 出願手続について

5. 出願手続の流れ

- (1) 出願期間について

以下の出願期間中に必要な手続を全て完了してください。

前期実施と後期実施の両方に出席することも可能です。前期実施と後期実施の両方に出席する場合、出願手続は試験日程ごとに必要です。

日程	出願期間
前期実施	2025 年 8 月 20 日 (水) 10 : 00 ~ 8 月 29 日 (金) 23 : 00
後期実施	2025 年 11 月 10 日 (月) 10 : 00 ~ 11 月 17 日 (月) 23 : 00

- (2) 出願の全体的な流れ

本入学試験における出願手続の流れは以下の通りです。詳細は各項目を確認してください。

出願はオンライン出願システム「TAO (The Admissions Office)」から行います。

必要な手続
① オンライン出願システムのアカウントを作成する
② オンライン出願システム上で出願情報を登録し、出願書類を提出する
③ オンライン出願システム上で入学検定料を支払う
④ オンライン出願システムにて、出願を完了する

- (3) オンライン出願システムでのアカウント作成

オンライン出願システムにアクセスし、アカウントを作成してください。アカウント作成は、出願期間開始前でも行うことができます。

オンライン出願システム URL : <https://admissions-office.net/portal>

なお、アカウントを作成することにより、志願者はオンライン出願システムのプロバイダーである株式会社 TAO に
よって定められた「利用規約」と「個人情報の取り扱いについて」に同意するものとします。

(4) 本入学試験への出願登録

出願期間内にオンライン出願システムより出願登録を行ってください。

オンライン出願システムにログイン後、出願できる大学の一覧から「立命館大学」を選択してください。その後、
「学部 / 研究科名」欄にて「外国人留学生入学試験（前期実施・後期実施）」を選択し、出願登録を進めてください。
出願登録の詳細は本学入試情報サイトに掲載している「オンライン出願マニュアル」を参照してください。出願登録
の完了後、全ての項目が正しく入力されているか確認の上で、「出願を完了する」ボタンを押下してください。

6. 出願書類の提出

出願書類は、オンライン出願システムで提出します。必要な書類と提出方法は以下の通りです。出願書類以外（例：本
学が提出を求めている「資格試験の合格証明書」「関係者の推薦書」等）は受理しません。なお、提出された書類の内
容を確認するために、書類の発行機関に問い合わせることがあります。

また、合格後に原本提出が必要な書類については、所定の期日までに郵送で提出してください。詳細は、合格発表時
に案内する「入学手続概要」でお知らせします。

提出書類	対象者	提出方法	合格後に原本提出が 必要な書類
(1) 高等学校卒業（修了）証明書 または卒業（修了）見込証明書	全員	オンライン※1	✓※2
(2) 高等学校の全学年の成績証明書			✓
(3) 志望理由書			
(4) パスポート			
(5) 写真			
(6) 「日本留学試験」成績確認書、成績通知書 または受験票			
(7) 英語外部資格試験の成績証明書	該当者のみ		✓

※1 日本の高等学校を卒業（修了）または卒業（修了）見込の者で、(1)(2)の代わりに「調査書」を提出する場合は、
開封せずに郵送で提出してください。調査書は出願期間内に「簡易書留速達」で郵送してください（ポストへの
投函不可）。出願期間最終日の消印有効とします。

送付先：〒603-8346 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学 入学センター 国際入学課

※2 高等学校卒業（修了）見込証明書を提出する者は、高等学校を卒業後、高等学校卒業（修了）証明書の原本を提
出してください。

7. 出願書類の詳細

提出書類	留意点
(1) 高等学校卒業（修了）証明書 または卒業（修了）見込証明書 （注 1）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校印または学校関係者のサインが必要です。 【中国の現地正規課程による高等学校を卒業した者】 原則として以下のいずれかを提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> ① CSSD（学信網）が発行した「中国中等教育学历验证报告（Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificate）」 ② 中国の教育局が発行した「高等学校卒業証書（毕业证书）」 【日本の高等学校を卒業（修了）または卒業（修了）見込の者】 (1)の代わりに、調査書でも可とします。（注 2） 【香港の高等学校を卒業した者】 (1)に加えて、香港中學文憑考試（Hong Kong Diploma of Secondary Education Examination）の証明書を提出してください。 【外国における 12 年の課程修了相当の学力認定試験／高等学校卒業程度認定試験の合格者】 (1)の代わりに、高等学校卒業程度認定試験等の「合格証明書」を提出してください。 【文部科学大臣が指定した準備教育課程を修了もしくは修了見込の者】 (1)に加えて、準備教育課程の「修了証明書」または「修了見込証明書」を提出してください。
(2) 高等学校の全学年の 成績証明書（注 1）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校印または学校関係者のサインが必要です。 【高等学校を転出、転入している場合】 全ての高等学校の成績証明書の提出が必要です。ただし、最終の学校がそれまでの成績を認定し、すべての成績が記載されている場合は、その成績証明書のみを提出してください。 【飛び級や繰り上げ卒業により、通常の課程を 12 年未満で修了した場合】 成績証明書に飛び級をした学年・理由等の記載が必要です。記載されていない場合は、飛び級をした学年・理由等を証明する出身学校作成の書類を提出してください。 【日本の高等学校を卒業（修了）または卒業（修了）見込の者】 (2)の代わりに、調査書でも可とします。（注 2） 【外国における 12 年の課程修了相当の学力認定試験／高等学校卒業程度認定試験の合格者】 (2)の代わりに、高等学校卒業程度認定試験等の「成績証明書」を提出してください。 【文部科学大臣が指定した準備教育課程を修了もしくは修了見込の者】 (2)に加えて、準備教育課程の「成績証明書」を提出してください。
(3) 志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン出願システム上のフォームに直接入力してください。 ・志望理由を日本語で、800 字以内で入力してください。 ・志望理由は、大学卒業後の将来設計、大学で学んだことをどのように役立てたいかを踏まえて入力してください。
(4) パスポート（注 1）	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名、生年月日、国籍、性別、顔写真が確認できるページを提出してください。 ・複数の国籍を保有している場合は、すべてのパスポートを提出してください。 ・パスポートを持っていない場合は、国籍や氏名を確認できる出生証明書、住民票といった出身国の公的証明書を提出してください。
(5) 写真	<ul style="list-style-type: none"> ・3 ヶ月以内に撮影した、肩より上、無帽、無背景のカラー写真を提出してください。 ・写真は加工、補正をしないでください。

提出書類	留意点																
(6)「日本留学試験」成績確認書、成績通知書または受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・以下ア・イの日本留学試験のうち、いずれか1つの試験回の成績確認書、成績通知書または受験票を提出してください。 <table border="1"> <tr> <td>前期実施</td><td>ア:2024年度第2回(11月実施) イ:2025年度第1回(6月実施)</td></tr> <tr> <td>後期実施</td><td>ア:2025年度第1回(6月実施) イ:2025年度第2回(11月実施)</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・複数回の試験書類の提出や出願後の試験回の変更は認めません。 ・提出書類に基づき本学より日本学生支援機構に成績照会を行います。 	前期実施	ア:2024年度第2回(11月実施) イ:2025年度第1回(6月実施)	後期実施	ア:2025年度第1回(6月実施) イ:2025年度第2回(11月実施)												
前期実施	ア:2024年度第2回(11月実施) イ:2025年度第1回(6月実施)																
後期実施	ア:2025年度第1回(6月実施) イ:2025年度第2回(11月実施)																
(7) 英語外部資格試験の成績証明書(該当者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・「4. 出願資格・要件」の(4)において、各学部が定める英語外部資格試験のうち、以下のいずれか1つの成績証明書を提出してください。 <table border="1"> <tr> <td>①実用英語技能検定(注3)</td><td>「合格証明書」 ・デジタル証明書を提出する場合は、オンライン出願システムに、「デジタル証明書プレビュー画面の pdf ファイル」をアップロードしてください。また、デジタル証明書共有キーを入力してください。</td></tr> <tr> <td>②TOEFL iBT®テスト(注4)</td><td>「Test Taker Score Report」 ・オンライン出願システムに Appointment Number を入力してください。</td></tr> <tr> <td>③TOEIC® Listening and Reading Test(注3)</td><td>「Official Score Certificate」もしくは、「Digital Official Score Certificate」</td></tr> <tr> <td>④IELTS (Academic Module)(注5)</td><td>「Test Report Form」 ・オンライン出願システムに Test Report Form Number を入力してください。</td></tr> <tr> <td>⑤GTEC(注3)</td><td>「Official Score Certificate」</td></tr> <tr> <td>⑥TEAP(4技能)(注3)</td><td>「成績表(スコア表記面)」</td></tr> <tr> <td>⑦TEAP CBT(注3)</td><td>「成績表(スコア表記面)」</td></tr> <tr> <td>⑧Duolingo English Test</td><td>「公式認定証」 また、出願期間最終日までに本学が WEB 上で Duolingo English Test のスコアレポートを確認できるように手続を行ってください。</td></tr> </table>	①実用英語技能検定(注3)	「合格証明書」 ・デジタル証明書を提出する場合は、オンライン出願システムに、「デジタル証明書プレビュー画面の pdf ファイル」をアップロードしてください。また、デジタル証明書共有キーを入力してください。	②TOEFL iBT®テスト(注4)	「Test Taker Score Report」 ・オンライン出願システムに Appointment Number を入力してください。	③TOEIC® Listening and Reading Test(注3)	「Official Score Certificate」もしくは、「Digital Official Score Certificate」	④IELTS (Academic Module)(注5)	「Test Report Form」 ・オンライン出願システムに Test Report Form Number を入力してください。	⑤GTEC(注3)	「Official Score Certificate」	⑥TEAP(4技能)(注3)	「成績表(スコア表記面)」	⑦TEAP CBT(注3)	「成績表(スコア表記面)」	⑧Duolingo English Test	「公式認定証」 また、出願期間最終日までに本学が WEB 上で Duolingo English Test のスコアレポートを確認できるように手続を行ってください。
①実用英語技能検定(注3)	「合格証明書」 ・デジタル証明書を提出する場合は、オンライン出願システムに、「デジタル証明書プレビュー画面の pdf ファイル」をアップロードしてください。また、デジタル証明書共有キーを入力してください。																
②TOEFL iBT®テスト(注4)	「Test Taker Score Report」 ・オンライン出願システムに Appointment Number を入力してください。																
③TOEIC® Listening and Reading Test(注3)	「Official Score Certificate」もしくは、「Digital Official Score Certificate」																
④IELTS (Academic Module)(注5)	「Test Report Form」 ・オンライン出願システムに Test Report Form Number を入力してください。																
⑤GTEC(注3)	「Official Score Certificate」																
⑥TEAP(4技能)(注3)	「成績表(スコア表記面)」																
⑦TEAP CBT(注3)	「成績表(スコア表記面)」																
⑧Duolingo English Test	「公式認定証」 また、出願期間最終日までに本学が WEB 上で Duolingo English Test のスコアレポートを確認できるように手続を行ってください。																

(注1) 日本語・英語・中国語で作成されたものに限り。和文・英文・中文以外の場合は、和訳または英訳し、翻訳された内容が原本(翻訳元の文書)と相違ないことを在籍(出身)高等学校、大使館等の公的機関、または民間の翻訳会社等(日本語学校は除く)で証明を受けて、原本と共に提出してください。民間の翻訳会社等に依頼する場合は、翻訳文には翻訳機関を明記し、翻訳者の署名または捺印を受けてください。

(注2) 調査書の留意点は以下3点です。

- ① 文部科学省所定の様式により作成・厳封されたもの
- ② 卒業・修了見込みの者は、第3学年1学期終了時まで(2学期制の学校で、第3学年前期までの学習成績の状況を記載できない場合は、第2学年修了時まで)の学習成績の状況が記載されたもので、出願期間最終日よりさかのぼって3ヶ月以内に作成されたもの
- ③ 卒業・修了者は、卒業後に発行されたもの

(注3) 本入学試験合格後、第1次入学手続書類提出期日までに証明書の原本を提出してください(原本証明は不可)。提出方法の詳細は合格後に案内する「入学手続概要」でお知らせします。

(注4) 本入学試験合格後、第1次入学手続書類提出期日までに Institutional Score Report の発行を試験実施機関(ETS)へ申請してください(立命館大学の TOEFL® の DI コードは 0659)。

(注5) 本入学試験合格後、以下のいずれかの手続を行ってください。

- ・第1次入学手続書類提出期日までに証明書の原本を提出してください(原本証明は不可)。
- ・証明書を試験実施機関から大学への直送で提出する場合は、第1次入学手続書類提出期日までに本学に証明書が到着するように申請してください。申請の際は、送付方法および送付先を以下のとおり指定してください。

〔送付方法〕 電子送信

〔送付先機関名〕 Ritsumeikan University Office of Admissions

〔送付先住所〕 56-1 Toji-in Kitamachi, Kita-ku, Kyoto, 603-8346, Japan

8. 入学検定料

(1) 納入方法

入学検定料はオンライン出願システムから以下の納入期間内に必ず納入してください。納入の際は入学検定料の他に別途手数料が必要です。

なお、決済は「SB ペイメントサービス株式会社」提供の決済システムを使用しています。そのため、入学検定料支払いの手続は、SB ペイメントサービスの外部サイトに接続して行います。

日程	学部	選考	入学検定料	納入期間
前期実施	全学部（経営学部を除く）	第1次選考	15,000 円	2025 年 8 月 20 日（水）10：00 ～ 2025 年 8 月 29 日（金）23：00
		第2次選考	20,000 円	2025 年 9 月 26 日（金）9：30 ～ 2025 年 10 月 1 日（水）23：00
	経営学部	—	35,000 円	2025 年 8 月 20 日（水）10：00 ～ 2025 年 8 月 29 日（金）23：00
後期実施	全学部（経営学部を除く）	第1次選考	15,000 円	2025 年 11 月 10 日（月）10：00 ～ 2025 年 11 月 17 日（月）23：00
		第2次選考	20,000 円	2025 年 12 月 25 日（木）9：30 ～ 2026 年 1 月 6 日（火）23：00
	経営学部	—	35,000 円	2025 年 11 月 10 日（月）10：00 ～ 2025 年 11 月 17 日（月）23：00

＊第1次選考合格者は第2次選考入学検定料を納入してください。第1次選考合格者が第2次選考入学検定料納入期間内に入学検定料を納入しなかった場合、第2次選考を受験することはできません。

(2) 入学検定料の返還について

納入された入学検定料は、原則として返還しません。ただし、以下のケースに該当する場合には、払い込まれた金額の全額、または一部を返還します。該当する場合は入学センターまで問い合わせてください。また、⑤に該当する場合は、試験日から起算して3日以内に入学センターまで申し出を行ったうえで、これらの症状等に罹患したことが分かる医師の診断書等の提出が必要となります。

- ① 入学検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった。または、出願期間を過ぎて提出した。
- ② 入学検定料を多く払い過ぎた。
- ③ 出願資格を満たさなかった。
- ④ 出願書類不備等の理由により、本学が出願を不受理とした。
- ⑤ 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ等）に罹患しており、本学が受験をお断りした。

入学検定料の返還対象者と認められた場合は、入学センターよりメールで案内をお送りします。入学センターの案内日から2週間以内に手続を行ってください。期限を超えた場合は、入学検定料を返還しません。

なお、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

9. 受験票の発行

提出された出願書類に基づき出願資格・要件の審査を行い、審査の結果、出願資格・要件を満たすと認めた志願者には、受験票をオンライン出願システムで発行します（郵送は行いません）。受験票は、前期実施は9月12日（金）以降に、後期実施は12月19日（金）以降に発行します。受験票が、前期実施は9月16日（火）まで、後期実施は12月22日（月）までに発行されていない場合は、ただちに入学センターに問い合わせてください。

この受験票は第2次選考でも使用します。第2次選考受験者は、受験票を試験の当日に画面や紙面で提示できるように準備しておいてください。

なお、出願資格・要件を満たさない場合はその旨をメールで通知し、入学検定料の返還について案内します。

10. 出願にあたっての注意事項

- (1) 出願期間内に登録が完了しない場合、郵送で提出する書類の消印日付が出願期間経過後の場合、入学検定料が未納の場合は、出願を受理しません。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、出願を受理しません。出願書類について本学より連絡があった場合は、速やかにその指示に従ってください。
- (3) 本学が指示した場合を除き、オンライン出願システムでの出願登録および出願書類の提出後に、出願に関わる情報の変更は認めません。
- (4) オンラインで提出された書類の原本を出願時に求めることがあります。
- (5) 出願の受理・不受理を問わず、原則、提出された出願書類は返却しません。
- (6) 病気・負傷や障害等のために、受験時や入学後の学修に際して配慮を希望する場合は、前期実施は7月11日（金）、後期実施は9月26日（金）までに入学センター（mail : ru-iao4@st.ritsumei.ac.jp）に連絡してください。
ただし、試験形態や希望内容によっては、希望どおりの配慮が行えない場合があります。
期日を過ぎた後の不慮の事故等（交通事故、負傷、発病等）により受験上の配慮を希望する場合も、入学センター（mail : ru-iao4@st.ritsumei.ac.jp）まで連絡してください。
なお、申請内容のヒアリングのため本学にお越しいただく場合があります。また、申請内容に関わる情報については、入学センターおよび当該学部事務室等の関連部署間で共有します。

IV. 選考内容・合格発表について

11. 選考方法

(1) 選考について

学部	選考	選考方法
全学部（経営学部を除く）	第1次選考	日本留学試験の成績
	第2次選考	日本留学試験の成績と個人面接の総合評価
経営学部	—	日本留学試験の成績と出願書類の総合評価

<第1次選考について>

- ・経済学部では、第1次選考時点で、合格専攻は決定しません。第2次選考時に決定します。

<第2次選考について>

- ・第2次選考は、第1次選考の合格者のみを対象に実施します。
- ・面接はすべて日本語で行います。
- ・出願書類は面接の際の資料として使用します。
- ・国際関係学部と生命科学部、薬学部では、英語外部資格試験の成績を評価の対象とします。
- ・理工学部では、理系の素養を確認するために口頭試問を行います。

(2) 第2次選考

① 面接試験日

日程	試験日	学部
前期実施	2025年10月4日（土）	法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部
	2025年10月5日（日）	政策科学部、総合心理学部、映像学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部、情報理工学部、理工学部、生命科学部、薬学部
後期実施	2026年1月10日（土）	法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、デザイン・アート学部
	2026年1月11日（日）	政策科学部、総合心理学部、映像学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部、情報理工学部、理工学部、生命科学部、薬学部

*経営学部は、面接試験を実施しないため、試験日の設定はありません。

② 面接の実施方法

学部	志願者の現住所 (日本国内)	志願者の現住所 (日本国外)
法学部、産業社会学部、文学部	<u>衣笠キャンパス</u> での対面面接	志願者の自宅等でのオンライン面接
経済学部、理工学部、薬学部	<u>びわこ・くさつキャンパス</u> での対面面接	
国際関係学部、 デザイン・アート学部、 政策科学部、総合心理学部、 映像学部、スポーツ健康科学部、 食マネジメント学部、 情報理工学部、生命科学部	志願者の自宅等でのオンライン面接	

* 出願時に登録された住所区分（日本国内・日本国外）に基づいて、面接を実施します。出願後の面接方法の変更は行いません。

③ 面接試験における留意点

- ・ 志願者は面接方法（対面またはオンライン）、面接日時を指定することはできません。
- ・ オンライン面接は、志願者の自宅等でオンライン会議システム等のインターネット、または電話を利用して行います。
- ・ オンライン面接で、志願者の通信機器等の不具合により面接を実施できなかった場合でも、再試験は行いません。
- ・ 面接試験の詳細は、第1次選考合格発表日以降に、出願システムに登録したメールアドレス宛に送付します。

④ 試験日に関わる注意事項

<前期実施>

地震や台風等の不測の事態が発生し、試験の実施が困難であると本学が判断した場合は、試験日を以下の日程に延期します。延期する場合は、本学入試情報サイト（<https://ritsnet.ritsumei.jp>）で告知しますので、適宜確認するようにしてください。延期日に受験しなかった場合は欠席とみなし、入学検定料は返還しません。なお、試験日を延期した場合、合格発表日や入学手続期間を変更することがあります。

面接試験 延期日：2025年10月11日（土）または10月12日（日）

また、日本で地震や台風等、試験の実施が困難となるような不測の事態が発生した場合でも、日本国外居住者と試験を実施できる場合は面接試験を行うことがあります。

<後期実施>

地震や台風等の不測の事態が発生し、試験の実施が困難であると本学が判断した場合は、試験を中止します。本学入試情報サイト（<https://ritsnet.ritsumei.jp>）で告知しますので、適宜確認してください。

12. 受験にあたっての注意事項

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

(1) 不正行為

① 次のことをすると不正行為になります。

- ア 出願の際に本学に提出する書類・資料、登録した情報等に、偽造・虚偽記載・剽窃等の行為を行うこと
- イ 出願時にオンラインで提出した出願書類と合格後に提出された原本または正本であると認定された書類に改ざん等の不一致が見つかった場合
- ウ カンニング（試験の科目に関するメモやコピーなどを机の上等に置いたり見せたりすること、参考書の内容や他の志願者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること

- エ 志願者以外の者が志願者本人になりすまして出願書類等を作成することや試験を受けること
- オ 他の志願者に面接内容や答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること
- カ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）、電子辞書、IC レコーダー等の電子機器類を使用すること

（オンライン面接の場合）

- キ 面接室に志願者以外を入室させること
- ク オンライン面接での接続以外にパソコン等を操作すること
- ケ 面接室内に持ち込み許可物件以外のものを持ち込むこと
- コ 頻繁に WEB カメラから視線を離すなど、不審な行動をとること
- サ 本学からの着信や連絡以外に携帯電話、スマートフォンを操作すること
- シ オンライン面接の URL やリンク先情報を志願者以外に伝えること
- ス 試験時間中に撮影・録音・録画・外部への配信などを行うこと

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。

- ア 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）等の電子機器類や、定規、コンパス、電卓等の補助具、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたり机の上や下（棚）に置いておいたりすること
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること
- ウ 試験に関することについて、自身や他の志願者を利するような虚偽の申し出をすること
- エ 他の志願者の迷惑となる行為をすること
- オ 試験監督者・面接官・本学職員等の指示に従わないこと
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

③ 不正行為を行った場合の取扱いとは以下のとおりとします。

不正行為を行った場合は、当該の試験および当該年度の受験はできなくなり、すでに受験した当該年度の入学試験も含め「全ての科目の成績を無効」とします。入学検定料の返還は行いません。また、警察に被害届を提出する場合があります。不正行為を行ったことが入学後に発覚した場合は、入学資格を取り消します。

(2) 遅刻の取扱いについて

- ① 各入試方式で遅刻の取扱いを定めています。出願システムに登録したメールアドレス宛に送付する受験案内等で確認してください。
- ② 本学キャンパスにて実施する選考において、人身事故等による公共交通機関（バス・タクシーを除く）の遅れや自然災害などの不可抗力による遅刻の場合は、受験を認める場合があります。遅刻の恐れがある場合は集合時刻までに受験案内等に記載されている連絡先まで申し出てください。なお、公共交通機関の大幅な遅れなどにより、試験当日、多くの志願者に影響があると本学が判断した場合は、試験全体に支障がない範囲で試験開始時刻を繰り下げることがあります。ただし、それによって生じた志願者の個人的費用や損害は、本学は一切責任を負いません。
- ③ オンライン面接においては、指定した接続開始時刻までにオンライン面接への接続ができるよう準備を済ませてください。接続開始時刻から本学が「受験案内」で指定する遅刻限度時刻までに、オンライン面接の接続が確立せず、また、本学からの電話に応答しなかった場合は、欠席とみなします。
- ④ 受験できなかった場合の入学検定料は、原則として返還しません。

(3) 不測の事態への対応

不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置を取ることがあります。ただし、このことに伴う志願者の個人的損害について本学は責任を負いません。不測の事態が発生した際は、対応措置について本学入試情報サイトで告知します。

<https://ritsnet.ritsumeiji.jp>

(4) その他の注意事項

- ① 疾病・事故その他の事由も含め、受験できなかった志願者のための追試験は一切行いません。

13. 試験当日の注意事項

出願する入学試験の選考方法に応じて、以下の「本学キャンパスでの試験当日の注意事項」または「オンライン面接の試験当日の注意事項」をご確認ください。なお、これは2025年5月時点の内容です。今後、文部科学省から発出される「令和8年度大学入学選抜実施要項」の内容によっては、変更する可能性があります。変更を行った場合は、本学入試情報サイトでお知らせします。

＜本学キャンパスでの試験当日の注意事項＞

(1) 受験にあたってのお願い

- ① 日頃から手洗い・手指消毒、咳エチケットを徹底して体調管理を心がけてください。発熱や咳等の症状がある場合、予め医療機関を受診してください。
- ② 試験室の換気を行うため、試験室の扉や窓等を開放することがあります。体温調整ができるよう、上着など必要な衣服を持参してください。

(2) 試験当日の来場・入室などの諸注意

① 試験会場への来場について

ア 試験会場への来場は、原則、公共交通機関を利用してください。車・バイクでの入構はできません。交通機関の状況を考慮し、試験会場には余裕を持って到着するよう心がけてください。

② 試験教室への入室・着席について

ア 試験教室へは必ず各試験の集合時刻までに入室してください。

イ 指示に従い着席してください。指示に従わない場合、受験を無効とする場合があります。

③ 試験会場等の間違いについて

ア 受験案内等に記載された試験会場でのみ受験できます。試験会場の間違いによる他会場での受験は一切認めませんので、十分注意してください。

(3) 試験当日に持参するものおよび使用許可物件について

① 持参するもの

ア 受験票および受験案内（受験票は画面または紙面で提示できるようにしておくこと）

イ 時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、ストップウォッチ、大型のものは不可）

ウ その他、本学が指定するもの（受験案内等で案内します）

② その他

ア 試験教室内では携帯電話・ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）等は必ず電源を切ってください。

イ 試験時間中の飲食は禁止します。ペットボトルなどを机の上に置くことはできません。

(4) 試験時間中の諸注意

① 試験時間中（説明開始から終了後の退出まで）は、試験監督者、係員の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。

② 本人確認のために「写真照合」を行います。本人と判断しづらい場合は、写真撮影を行うことがあります。

③ 試験時間中の退室は原則として認めません。試験中に気分が悪くなった場合には、一時退室を許可することがありますが、その間の試験時間は保障しません。

(5) 体調不良時の対応

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ等）に罹患している場合は、他の受験者への感染のおそれがありますので、受験をお断りします。学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症で欠席した場合は、所定の手続を行うことで入学検定料を返還し、追試験は実施しません。

<オンライン面接の試験当日の注意事項>

(1) オンライン面接にあたっての諸注意

① オンライン面接を受験する場所（以下、面接室）について

- ア 面接室は、静かな個室を用意してください（例：自分の部屋、学校の教室など）。
- イ オンライン面接の接続開始時刻から面接終了時刻まで、面接室には志願者以外の者を入室させないでください。
- ウ カフェ等の公共の場での受験は認めません。

② オンライン面接を受験するための機器類について

- ア オンライン面接を受験するための機器類、インターネット環境、通信に掛かる費用は志願者の負担となります。
- イ カメラ付きのパソコン、タブレット、スマートフォン（以下、パソコン等）を用意し、インターネットに接続できることを事前に確認してください。また、出願時に登録した「電話番号」の電話も用意してください。
- ウ カメラ・スピーカー・マイクが正常に機能していることを事前に確認してください。
- エ パソコン等の充電切れを防ぐため、面接中は電源ケーブルを接続した状態にしてください。
- オ 面接の音質を確保するために、ヘッドセット（マイク付きヘッドフォン）の使用を推奨します。
- カ インターネット接続は無線 LAN 接続でもかまいませんが、ネットワークの安定性から有線 LAN 接続を推奨します。
- キ パソコン等に不具合が発生した場合やインターネットの接続が不安定な場合には、出願時に登録した「電話番号」に連絡を行います。そのため出願時に登録した「電話番号」がスマートフォンの場合は、面接にはそのスマートフォン以外の通信機器を使用することを推奨します。
- ク パソコン等に不具合が発生した場合やインターネットの接続が不安定な場合は、出願時に登録した「電話番号」の電話で面接を行うことがあります。

(2) 試験当日に準備するものおよび使用許可物件について

① オンライン面接当日に必要なもの、また使用を認めるものは以下のとおりです。詳細は、第 1 次選考合格後に
出願システムに登録したメールアドレス宛に案内します。

- ア 受験票・受験案内メール
- イ 写真付き身分証明書（パスポートや学校の生徒手帳、学生証など）
- ウ 時計（電卓、辞書機能、翻訳機能を持つ時計、スマートウォッチ等は不可）
- エ 出願時に登録した「電話番号」の携帯電話（電源を ON にしておくこと）
（理工学部のみ）
- オ 口頭試問用の A4 用紙（白紙）とペン（画面に映る濃さ・太さのもの）
*出願書類を含めて、上記以外のものは持ち込めません。

(3) 試験時間中の諸注意

- ① 本人確認のために、受験者のスクリーンショットを撮ります。
- ② 面接試験中の離席は原則として認めません。面接中に気分が悪くなった場合には、一時離席を許可することがありますが、その間の面接時間は保障しません。
- ③ オンライン面接中に不正行為が疑われる場合、本学が録画することがあります。

14. 合格発表

日程	学部	選考	合格発表日
前期実施	全学部（経営学部を除く）	第 1 次選考	2025 年 9 月 26 日（金）9：30
		第 2 次選考	2025 年 10 月 20 日（月）9：30
	経営学部	—	2025 年 10 月 20 日（月）9：30
後期実施	全学部（経営学部を除く）	第 1 次選考	2025 年 12 月 25 日（木）9：30
		第 2 次選考	2026 年 1 月 21 日（水）9：30
	経営学部	—	2026 年 1 月 21 日（水）9：30

* 合格発表はオンライン出願システムで行います。

- * 合格通知書はオンライン出願システムから確認できます。郵送は行いません。
- * 合格者には、第 2 次選考合格発表日以降に、第 1 次入学手続の案内を出願システムに登録したメールアドレス宛に行います。入学手続時納付金納付書はオンライン上で発行します。郵送は行いません。
- * 試験を欠席（途中退室含む）した場合は、可否判定の対象外となります。
- * 可否結果の内容に関する問い合わせには一切応じません。

V. 合格後の手続等について

15. 入学手続

入学手続は、所定の期間内に完了してください。期日までに手続を完了しない場合は入学できません。入学手続の詳細は、出願時に登録されたメールアドレス宛に案内します。郵送は行いません。合格発表時には「入学手続概要」、3 月初旬には「入学手続要項」で詳細をお知らせします。本学からの案内メールの未着を理由として、入学手続が期日までに行えなかった場合でも救済措置はありません。本学が指定する日までにメールが未着の場合は、必ず入学センターへ問い合わせてください。

- * 在留資格を新規に取得する必要がある方、入学までに在留期限が失効する方、もしくはすでに在留資格を有している方で入学前に在留資格の変更を希望する方については、入学手続とあわせて別途、在留資格に関する手続が必要です。在留資格に関する手続の詳細については、合格発表時に案内します。

(1) 入学手続時納付金

本学では、学費（入学金、授業料）および諸会費（学友会費、学会費、父母教育後援会費）をあわせて「入学手続時納付金」としています。「入学手続時納付金」は、以下のとおり納入してください。

① 第 1 次入学手続

入学金を納入してください。なお、一旦納入された入学金および外国送金手数料は、理由のいかんにかかわらず返還しません。

第 1 次入学手続期間

前期実施：2025 年 10 月 20 日（月）～ 11 月 4 日（火） ＜最終日の金融機関収納印有効＞

後期実施：2026 年 1 月 21 日（水）～ 2 月 4 日（水） ＜最終日の金融機関収納印有効＞

② 第 2 次入学手続

授業料および諸会費を納入してください。

第 2 次入学手続期間

前期実施・後期実施共通：2026 年 3 月 9 日（月）～ 3 月 18 日（水） ＜最終日の金融機関収納印有効＞

(2) 入学手続書類

① 第 1 次入学手続書類

以下の期間内にア～ウを提出してください。

前期実施：2025 年 10 月 20 日（月）～ 11 月 4 日（火） ＜簡易書留速達扱い・最終日消印有効＞

後期実施：2026 年 1 月 21 日（水）～ 2 月 4 日（水） ＜簡易書留速達扱い・最終日消印有効＞

ア 英語外部資格試験の証明書原本（国際関係学部、経営学部、生命科学部、薬学部、経済学部 国際専攻のみ）

イ 高等学校の成績証明書

出願時に提出したすべての成績証明書の原本を提出してください。提出された証明書は返却しません。日本の学校を卒業または卒業見込みの者で、調査書を出願書類として提出した者は、提出不要です。ただし日本の学校に転入学等された場合は、前籍校のすべての成績証明書の原本を提出する必要があります。

ウ 高等学校の卒業証明書（既卒者のみ）

ケース	提出書類
中国の高等学校を卒業した者	<p>以下のいずれかを提出してください。 出願時に CSSD (学信網) が発行した「中国中等教育学历验证报告 (Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificate)」を提出した方は、いずれも提出不要です。</p> <p>A) CSSD (学信網) が発行した <u>英文</u> の「中国中等教育学历验证报告 (Verification Report of China Secondary Education Qualification Certificate)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSSD (学信網) から本学へ E メールで直送してください。 ＜送付先＞E-mail : tetuzuki@st.ritsumeai.ac.jp ・中国 CHSI (中国高等教育学生信息网(学信網)) の電子証明書システム経由で送付された証明書のみ受け付けます。 <p>B) 中国の教育局等が発行した「卒業証書」の公証書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の各地方の公証処 (各地方の司法局に認定された機関) で原本証明を受けた卒業証書のコピーを提出してください。
中国以外の国の高等学校を卒業した者	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業証明書の原本を提出してください。 ・高等学校卒業程度認定試験等を合格または合格見込みの者は、高等学校卒業程度認定試験等の「合格証明書」の原本を提出してください。 ・準備教育課程を修了または修了見込みの者は、卒業証明書等に加え、準備教育課程の「修了証明書」の原本を提出してください。

② 第2次入学手続書類

以下の期間内にアおよびイを提出してください（アは第1次入学手続書類提出期間の時点で高等学校を卒業していない者のみ提出してください）。

前期実施・後期実施共通：2026年3月9日（月）～3月18日（水） ＜簡易書留速達扱い・最終日消印有効＞

ア 高等学校の卒業証明書の原本（第1次入学手続書類提出期間の時点で高等学校を卒業していない者のみ）

イ その他の入学手続書類

(3) インターネット入学手続

以下の期間に、インターネット入学手続の登録を行ってください。

登録期間

前期実施・後期実施共通：2026年3月9日（月）10:00～3月18日（水）23:59

(4) 入学を辞退する場合の授業料および諸会費の返還について

授業料および諸会費は、2026年3月31日（火）までに「入学辞退届兼入学手続時納付金返還願（入学金を除く）」

（本学所定用紙）により入学の辞退を申し出た場合に限り、後日返還します。2026年4月1日（水）以降の申し出には応じられません。返還先口座を日本国外の金融機関に指定した場合は、外国送金手数料を差し引いて返還します。なお、入学金は返還の対象とはなりません。

16. 日本国外在住者（在留カードを持っていない方）への留意点

日本国外在住の方（在留カードを持っていない方）は、日本入国のための「査証（ビザ）」を取得するために「在留資格認定証明書」の提出が必要となります。第2次入学手続を完了した合格者のうち、在留資格「留学」の取得を希望する方については、本学が在留資格「留学」のための在留資格認定証明書を代理で申請・取得します。

在留資格認定証明書の取得に関する手続は、必要書類の提出と学費の納入が確認できてから通常 4～6 週間以上かかります。代理申請を希望する場合は「15. 入学手続」に記載の第2次入学手続期間にかかわらず、以下の指示に従ってください。

【前期実施合格者で在留資格認定証明書の代理申請を希望する方】

- ・2025年10月20日（月）～11月4日（火）の間に第1次入学手続を完了してください。
- ・2025年12月22日（月）までに、「授業料および諸会費」を納入し、第2次入学手続を完了してください。
- ・2025年12月22日（月）までに在留資格取得に必要な書類を大学に提出してください。

「授業料および諸会費」の入金確認および代理申請に必要な書類を提出できた方から順に、在留資格認定証明書の取得に関わる手続を開始します。

【後期実施合格者で在留資格認定証明書の代理申請を希望する方】

- ・2026年 1月21日（水）～ 2月4日（水）の間に、在留資格取得に必要な書類を大学に提出したうえで「入学金」と「授業料および諸会費」を納入し、第1次入学手続および第2次入学手続を一括で完了させてください。
- 「入学金」と「授業料および諸会費」の入金確認および代理申請に必要な書類を提出できた方から順に、在留資格認定証明書の取得に関わる手続を開始します。

在留資格取得に必要な書類については、入学手続書類提出期間に関わらず、別途提出する必要があります。

在留資格認定証明書が3月中に取得できない場合は、入学までに在留資格「留学」で日本へ入国することができません。詳細については、合格発表時に送付する案内を確認してください。

VI. その他

17. 入学後の留意点

学部・学科等	留意点
法学部	法学部では、卒業に必要な単位数 124 単位のうち、外国語科目として「日本語」6 単位だけではなく、「英語」6 単位も必ず修得しなければなりません。
国際関係学部 国際関係学科 国際関係学専攻	国際関係学部では、入学時の英語のクラス分けテストの点数にもとづいて英語のクラス分けを行います。また、英語での講義の受講や留学プログラムへの参加を推奨しており、志望者には英語を履修する強い意欲があることが望まれます。合格後も英語力向上のための学習を継続してください。
デザイン・アート学部	デザイン・アート学部では、卒業に必要な単位数 124 単位のうち、卒業研究を含めて必修科目単位数が 40 単位と多く設定されています。Design in Society (DiS)科目群、Design Studies (DS) 科目群を中心にしっかりと学んでいきます。 具体的なカリキュラムの内容は以下を参照してください。 https://www.ritsumeai.ac.jp/da/images/about/ritsumeikan_da_curriculum-book.pdf
経済学部	経済学部の外国語科目の履修は、経済専攻では「2 言語コース（日本語+1 言語）」による履修、国際専攻では「英語インテンシブコース」もしくは「中国語インテンシブコース」による履修です。なお、母国語の語種（言語）を選択することはできません。
薬学部 創薬科学科	薬学部創薬科学科では、卒業に必要な単位数 128 単位のうち、必修科目単位数が 79 単位と大変多くを占めるため、得意不得意に関係なく幅広い学問分野から単位を修得しなければなりません。したがって、専門科目の授業を理解できる「日本語」の語学力に加え、数学や理科に関する基礎学力も十分に備わっている必要があります。

18. 学費・諸会費・各種奨学金等

学費・諸会費は、こちらの URL (<https://ritsnet.ritsumeai.jp/fee/cost.html>) より確認してください。

各種奨学金等は P.23 立命館大学への留学案内「3. 外国人留学生のための支援制度」を参照してください。

19. 入学前教育（デザイン・アート学部のみ）

入学前教育とは、合格してから翌春入学するまでの数ヶ月間、自主的な学習を継続することによって、高等学校の学びから大学での学びへ円滑に接続し、大学で必要となる基礎学力と学びの姿勢を補強・補完する取り組みです。

(1) デザイン・アート学部の入学前教育

合格者に向けての入学前からのデザイン教育、リフレクション活動への出席

＊実施形態・日時や場所などの詳細は合格発表後に案内します。

＊本学部が重視する CX (Creative Transformation) とは、創造的な実践を通じて学び、そのものを変容させる経験を積み重ねていくプロセスです。CX のマインドセットを入学前から共有し、体験的に理解する機会となります。

20. 受験生の個人情報の取扱い

こちらの URL (https://www.ritsumeikan-trust.jp/info/privacypolicy/g01_06_j) より、個人情報の保護に関する法律に基づく公表事項をご確認ください。

21. キャンパスマップおよび交通案内

キャンパス	マップ	交通案内
衣笠キャンパス	https://www.ritsumei.ac.jp/campusmap/#kic	https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/
大阪いばらきキャンパス (O I C)	https://www.ritsumei.ac.jp/campusmap/#oic	https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/oic/
びわこ・くさつキャンパス (B K C)	https://www.ritsumei.ac.jp/campusmap/#bkc	https://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/bkc/

【補記】TOEIC[®]、TOEFL[®]は Educational Testing Service (ETS) の登録商標です。

立命館大学への留学案内

1. 外国人留学生と在留資格について

外国人留学生とは、日本の教育機関等において教育を受ける目的をもって入国し、教育機関等に入学した外国人学生のことをいいます。すなわち、『出入国管理及び難民認定法』の「留学※」に定める在留資格によって入国した者、および他の在留資格によって入国し、その後所定の手続を経て、上記に定める資格に変更することのできる者のことをいいます。在留資格「留学」を新規に取得する方、現在保有している中長期在留資格から在留資格「留学」に変更を希望する方および入学までに在留資格「留学」の在留期限が切れる方は、入学手続とあわせて在留資格の取得もしくは変更、または在留期間の更新の手続が必要です。入学手続および在留資格の新規取得または変更・在留期間の更新に関する詳しい手続については、合格発表時に案内します。

※留学：本邦の大学、高等専門学校、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む）もしくは特別支援学校の高等部、専修学校もしくは各種学校または設備および編制に関してこれらに準ずる機関において教育を受ける活動

2. 外国人留学生のための学修制度

各学部を卒業するためには、4年以上在学し、学部ごとに定められた学部則に基づいて、教養科目、基礎科目、外国語科目、および各学部の専門科目の必要単位をとらなければなりません。留学生の皆さんには、留学生のみが受講できる授業科目（「日本語教育科目」「日本事情等に関する科目」）が用意されています。

【参考】2025年度外国人留学生科目

日本語教育科目

日本語Ⅶ（文章表現 a・b）	日本語Ⅷ（アカデミック日本語 a・b）
日本語Ⅶ（読解 a・b）	日本語Ⅷ（キャリア日本語 a・b）
日本語Ⅶ（聴解口頭 a・b）	理工学部・生命科学部・薬学部（創薬科学科）のみ：科学技術日本語Ⅰ・Ⅱ

日本事情等に関する科目

日本の文化・地理・歴史	日本の社会・政治	日本の経済・経営
日本の自然・科学技術	日本語学	異文化間テーマ演習

3. 外国人留学生のための支援制度

(1) 外国人留学生授業料減免および奨学金制度

① 外国人留学生授業料減免

経済的支援が必要な外国人留学生を対象に、入学試験の成績に応じて下表の通り授業料減免を行います。採用者には入学試験合格発表の際に通知します。なお、対象者や採用人数等は、入学試験方式によって異なります。また、合格発表時に採用通知を得ても、入学後に在留資格「留学」を取得しなかった場合は、授業料減免は適用されませんので、その場合は授業料減免相当額を別途納入する必要があります。

＜2026 年度授業料減免対象者および採用人数等（以下の入学試験方式）＞

2026 年度外国人留学生入学試験（前期実施・後期実施）

名称	要件	採用人数	減免額	期間
学部生Ⅰ種	在留資格「留学」の 取得者または取得 予定者で、入学試 験の成績上位者	募集人数の 10%以内	授業料年額の 100%減免	1 年間
学部生Ⅱ種		募集人数の 10%以内	授業料年額の 50%減免	
学部生Ⅲ種		募集人数の 50%以内	授業料年額の 20%減免	

※外国人留学生授業料減免制度は 2027 年度以降に変更予定です。

② 各種奨学金希望者への支援

立命館大学の正規課程に在籍する私費外国人留学生を対象とした奨学金として、本学が支給する奨学金や公益財団法人が支給する奨学金等、様々なものがあります。希望する場合は入学後、大学が実施する奨学金募集期間（4 月初旬・10 月初旬）に申請する必要があります。詳細は入学後にご案内します。

(2) 住居探しの支援について

下宿の紹介・斡旋は、立命館生活協同組合（生協）や指定の会社が行っています。入学決定後に、本学より送付する新しい学生生活のための資料には、生協および指定の会社による下宿斡旋に関する情報も掲載されています。ただし、海外に住所がある方には送付していません。

「礼金」「敷金」等の日本特有の慣行もありますので、わからないことがあれば早めに生協または指定の会社、もしくは所属キャンパスの国際教育センターに相談してください。

(3) 健康管理について

日本での学生生活においては、健康に十分注意することが必要ですが、もし病気やけがをしたときは各キャンパスにある「保健センター」で応急手当てや治療を受けることができます。本学の保健センターでは、すべての学生の健康管理のため、定期的に健康診断を行うほか、健康についての相談、メンタルケアの相談にも応じています。

また、日本の医療機関で治療を受けると、高額な治療費がかかり、経済的に大きな負担となります。そのような状況を防ぐため、日本では 3 か月以上日本に滞在するすべての外国人留学生が「国民健康保険」に加入することが法律によって義務づけられています。また、国民健康保険料を補助する制度もあります。詳しくは、入学前（3 月中旬～下旬）に新入外国人留学生オリエンテーション等を通じて案内する情報を確認してください。

(4) 卒業後の日本での就職について

日本での就職を希望する外国人留学生に対しては、本学のキャリアセンターが説明会（ガイダンス）の開催、企業の採用情報の提供、面接指導などの支援を行っています。日本では就職活動を行う時期が限られているため、事前にスケジュールを知り、適切な時期に活動を行うことが必要です。日本での就職を希望する人は積極的にキャリアセンターを活用してください。

(5) 相談窓口の充実

本学では、各学部の事務室や衣笠／OIC／BKC 国際教育センター、各キャンパスの学生オフィスやキャリアセンターなどに留学生担当スタッフをおいて、留学生の皆さんの相談に応じています。また、留学生を支援し交流を深めるための留学生チューター（学生団体 TISA）を配置しています。

2025 年度 外国人留学生入学試験結果・日本留学試験合格者最低点

1. 下記合格者最低点および算出方法はあくまで 2025 年度の実績です。
 2. 「総点」は各学部の出願要件に定める「受験必須科目」の点数を合算したものです。
- <参考：受験必須科目>

学部	受験必須科目
法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、映像学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「総合科目」または「数学（コース1またはコース2）」のいずれか1科目
経済学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「総合科目」 ③ 「数学（コース1またはコース2）」
理工学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「数学（コース2）」 ③ 「理科（物理・化学の2科目）」
情報理工学部、生命科学部、薬学部	① 「日本語（記述問題含む）」 ② 「数学（コース2）」 ③ 「理科（物理・化学・生物から2科目選択）」

前期実施						
学部	学科・学域・専攻	試験結果		日本留学試験 合格者最低点(最低点/満点)		
		志願者数	合格者数	日本語	日本語記述	総点
法	法学科	45	24	327/400	40/50	500/650
産業社会	現代社会専攻	15	6	320/400	40/50	531/650
	メディア社会専攻	19	5			
	スポーツ社会専攻	1	1			
	人間福祉専攻	9	2			
	学部計	44	14			
国際関係	国際関係学専攻	98	25	302/400	35/50	530/650
文	人間研究学域	25	3	325/400	35/50	510/650
	日本文学研究学域	32	10			
	日本史研究学域	7	0			
	東アジア研究学域	7	2			
	国際文化学域	9	5			
	地域研究学域	9	4			
	国際コミュニケーション学域	1	1			
	言語コミュニケーション学域	11	3			
	学部計	101	28			
経営	経営学科	129	59	319/400	40/50	502/650
	国際経営学科	12	5			
	学部計	141	64			
政策科学	政策科学専攻	21	3	307/400	40/50	496/650
総合心理	総合心理学科	49	7	354/400	40/50	555/650
映像	映像学科	38	17	317/400	35/50	507/650
経済	国際専攻	3	0	294/400	35/50	664/850
	経済専攻	75	28			
	学部計	78	28			
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学科	30	3	310/400	40/50	512/650
食マネジメント	食マネジメント学科	33	11	308/400	35/50	486/650
情報理工	情報理工学科	68	23	270/400	35/50	642/850
理工	数理科学科 数学コース	15	6	254/400	30/50	531/850
	数理科学科 データサイエンスコース	42	13			
	物理科学科	17	9			
	電気電子工学科	31	5			
	電子情報工学科	11	2			
	機械工学科	37	9			
	ロボティクス学科	23	4			
	環境都市工学科	8	0			
	建築都市デザイン学科	8	2			
	学部計	192	50			
生命科学	応用化学科	19	5	278/400	35/50	615/850
	生物工学科	9	4			
	生命情報学科	9	4			
	生命医科学科	26	7			
	学部計	63	20			
薬	創薬科学科	2	1	342/400	45/50	723/850
総合計		1003	318	-	-	-

後期実施						
学部	学科・学域・専攻	試験結果		日本留学試験 合格者最低点(最低点/満点)		
		志願者数	合格者数	日本語	日本語記述	総点
法	法学科	50	8	338/400	40/50	534/650
産業社会	現代社会専攻	33	4	321/400	40/50	515/650
	メディア社会専攻	55	4			
	スポーツ社会専攻	3	1			
	人間福祉専攻	6	1			
	学部計	97	10			
国際関係	国際関係学専攻	68	25	298/400	35/50	508/650
文	人間研究学域	16	4	328/400	35/50	469/650
	日本文学研究学域	22	9			
	日本史研究学域	10	4			
	東アジア研究学域	12	2			
	国際文化学域	18	7			
	地域研究学域	13	2			
	国際コミュニケーション学域	1	0			
	言語コミュニケーション学域	17	4			
	学部計	109	32			
経営	経営学科	147	35	333/400	40/50	531/650
	国際経営学科	-	-			
	学部計	147	35			
政策科学	政策科学専攻	33	6	329/400	35/50	518/650
総合心理	総合心理学科	48	9	316/400	30/50	526/650
映像	映像学科	66	10	318/400	40/50	547/650
経済	国際専攻	8	4	295/400	35/50	658/850
	経済専攻	85	17			
	学部計	93	21			
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学科	36	4	311/400	40/50	532/650
食マネジメント	食マネジメント学科	80	6	329/400	35/50	504/650
情報理工	情報理工学科	76	21	258/400	35/50	613/850
理工	数理科学科 数学コース	23	3	209/400	30/50	528/850
	数理科学科 データサイエンスコース	63	8			
	物理科学科	15	1			
	電気電子工学科	28	3			
	電子情報工学科	15	1			
	機械工学科	41	5			
	ロボティクス学科	24	3			
	環境都市工学科	6	2			
	建築都市デザイン学科	9	2			
	学部計	224	28			
生命科学	応用化学科	21	4	295/400	35/50	613/850
	生物工学科	11	4			
	生命情報学科	16	3			
	生命医科学科	15	8			
	学部計	63	19			
薬	創薬科学科	1	0	-	-	-
総合計		1191	234	-	-	-

*上記の表は、2025 年度の合格者の日本留学試験の日本語・日本語記述・総点の最低点を参考に示すものです。

実際の選考においては、学部ごとに定める日本留学試験の各科目の成績と個人面接（理工学部は口頭試問を含む）を基に総合評価をしています。（経営学部は、日本留学試験の成績と出願書類の総合評価）

立命館大学入学センター

〒603-8577

京都市北区等持院北町 56-1

TEL : 075-465-8162

E-mail : r-yokoso@st.ritsumeit.ac.jp